

議会 だより



令和4年4月22日

いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.228

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

80
古紙配合率80%紙

恒川史跡公園への植樹(座光寺)

～ 歴史の変遷を感じる憩いの場へ～



令和4年

第1回 臨時会

2月1日
開催
(1日間)

第1回臨時会では、新型コロナウイルス感染症緊急対策事業第12弾に関連する令和3年度飯田市一般会計補正予算(第12号)案の審議を行い、原案のとおり可決しました。また、一般会計補正予算(第11号)を含む3件の専決処分の承認等を行いました。

新型コロナウイルス感染症緊急対策事業第12弾

① 個人への支援「5事業」

- ▼住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の給付
- ▼ひとり親家庭等への臨時特別給付金の給付
- ▼子育て世帯への感染症特別支援金の給付
- ▼感染症自宅療養者及び濃厚接触者への買いもの支援
- ▼感染警戒レベル4以下における事前検査による安心な会食等の実施を応援

② 事業者等への支援「2事業」

- ▼第6波対応事業者支援交付金を活用した定額給付金の給付
- ▼飯田お練りまつり等を安全・安心に開催するための支援

③ 「再掲」感染警戒レベル4以下における事前

検査による安心な会食等の実施を応援

④ 感染予防対策「1事業」

▼感染拡大を防ぐための簡易検査キット無料配布

「簡易検査キットの追加購入」

令和4年

第1回 定例会

2月24日
、
3月22日
開催

第1回定例会の初日における市長提出議案は、報告案件1件、人事案件3件、条例案件10件、一般案件5件、令和4年度一般会計予算案を含む予算案件18件の37件、さらに、閉会日に教育長の任命にかかる人事案件1件の全38件が上程され、議案審議の結果、原案のとおり可決・同意しました。

また、今定例会における議員及び委員会提出議案は4件。初日即決のオンライン出席にかかる委員会条例等の改正にかかる議案2件は、原案のとおり可決。さらに、中日3月9日に提出されたロシアのウクライナ侵攻に対する非難決議も、原案のとおり可決。閉会日には、請願及び陳情審査の結果を受けて国等へ意見書提出を求め議案1件を提出。審議の結果、原案のとおり可決され、意見書を送付することを決定しました。

また議会最終日には、閉会中における委員会の継続審査の申し出、第2回定例会までの議員派遣についても決定しました。

定例会の本会議の議決結果や会議の様子は、飯田市議会ホームページ、YouTube「飯田市議会(中継)」でご覧いただけます。

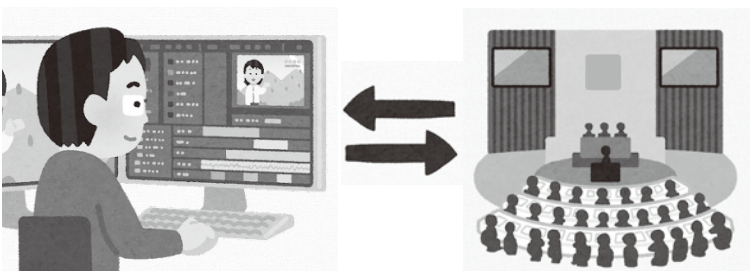
市議会委員会等の会議における

オンライン会議の実施への対応

災害や感染症まん延防止の観点から、委員会などの議会における会議においてオンライン会議を実施するため、飯田市議会委員会条例や会議規則などの改正を行いました。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、地方議会の活動に大きな影響を与えています。誰がいつ感染してもおかしくない状況の中で、長野県もまん延防止等重点措置が令和4年2月に適用されました。議会は、災害時や新型コロナウイルス感染症が拡大していく状況にあっても、議会機能を維持していく必要があります。

今回の条例等の改正により、災害や感染症のまん延防止のため委員会等の会議に参集できない議員であっても、オンラインでの会議に参加することができ、非常時でも委員会審査を実施することが可能となりました。



市民に身近な議会を目指して 「地方議会評価モデル」導入 キックオフ!



大正大学教授の江藤俊昭先生・公益財団法人日本生産性本部の野沢清部長らを講師に迎え、キックオフ講演会を3月28日に開催

飯田市議会は議会改革に取り組むため、平成24年に「議会改革・運営ビジョン」を策定し、議会改革推進会議を設置して、これまでの間、その進捗管理をしてきました。一方で、時代の変化に合わせた新たな課題への対応が求められている状況から、このたび、自己評価制度を取り入れ、市民の皆さんから「議会は身近な存在」と思ってもらえる飯田市議会を目指していくこととしました。

このため、社会の環境変化に応じて制度・運用を再確認するとともに、あらためて過去を振り返り、これからの10年を見据えて前に進む機会とするため、「地方議会評価モデル」に、全議員で取り組みます。

この「地方議会評価モデル」は、市議会が目指す理想的な姿を明確化するとともに、議事機関である地方議会の「組織性」に着目し、現状分析と課題抽出を図り、通任期中の目標を明らかにすることで、住民の福祉の向上につなげることを目的としています。

今回開催したキックオフ講演会を皮切りに、全議員が3つのグループに分かれて検討・議論を始めます。まず7月を目標として「自らの議会がどのような議会か」共通認識を得るため、「議会プロフィール」を作成していきます。その後、議会の現状を評価することで課題を明らかにし、課題解決のために、議会として取り組むべきことを明らかにしていく予定です。

ロシアのウクライナ侵攻を 非難する決議について

令和4年2月24日、ロシア軍はウクライナへの本格的な軍事侵攻を開始しました。

この強行された軍事侵攻は、明白な国際法違反、国連憲章違反で決して許されるものではなく、人権と対話を無視するなど、世界平和を脅かし、国際社会の安全、秩序を著しく損なう暴挙に他なりません。

このような軍事的暴挙は断じて容認できず、あくまでも、対話による平和的解決が図られるべきです。

飯田市議会として、ロシアのウクライナに対する侵攻を強く非難するとともに、ロシア軍の即時撤退と国際法の順守を強く求めます。



飯田市ではウクライナ支援として募金活動を行っています

「ご当地ナンバー」の導入 について

清水 優一郎 議員 (新政いいだ)



A 当地域での「ご当地ナンバー」の導入は、地域の知名度を上げる取り組みであり、地元愛やシビックプライドの醸成、南信州地域の一体感につながる有効な手段であると捉える。議員の質問を契機に、広域連合の中で議論を再開する動きにつなげていきたい。

■地域産業の活性化について

Q 国交省は来年度5年ぶりに募集開始予定。地域活性化やシビックプライドの旗印として導入への考えは。

ズバリ 市政を 問う!

第1回定例会の一般質問の概要を紹介します。(14人・質問順)

■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子は
YouTubeで
動画配信しています



今後の飯田市のまちづくり について

小平 彰 議員 (新政いいだ)



A 土地利用を市内の機能配置あるいはゾーニングを考える視点として提案した。リニア時代を見据えた21世紀型の新しいまちづくりを展開するため、都市重心(行政機能・飲食・宿泊エリア)、人口重心(良好な居住地、病院店舗などの生活利便性向上エリア)、交流重心(リニアを利用して人や情報が活発に行き来するエリア)の考え方を入れて組み直した。

Q リニア整備効果を地域振興に活かすビジョン案の3重心について。

ゼロ予算事業への市長の 意気込みは

小林 真一 議員 (公明党)



Q ゼロ予算事業が当初予算資料に明記され、評価する点であり、想いと決意を感じる、市長の意気込みは。

A 予算額の大小に係わらず、小さな一歩として大事な取り組みがある。地道な取り組みを一つ一つ積み重ねていくことで、「日本一住みたいまち」の実現につなげていきたい。予算額が小さい、あるいはゼロ予算であっても、これまで目が行き届かなかった事業に取り組みうとすることが大事であり、しっかりと取り組んでいきたい。

■市長のビジョンについて

飯田市の窓口対応について

古川 仁 議員 (日本共産党)



A 「福祉まるごと相談窓口」と、既存の相談支援機関が相談を受け、複合的な課題や複雑化した問題、制度の狭間の問題に対して関係機関が連携しながら問題解決に向けた支援をしている。市民生活の安定のためにあるものであり、引き続き、丁寧な対応に心掛けていく。まずは相談にお越しいただきたい。■市民に寄り添い心かよう窓口対応について

Q コロナで生活困難者が増えると考え、福祉まるごと相談窓口の状況と今後の展望は。

市営駐車場の使用料改定の 試行について

竹村 圭史 議員 (会派きぼう)



Q まちなか回遊促進による滞留時間を拡大し、収益確保につなげるための具体的な施策の考え方は。

A 以前より気楽に市街地へ来やすくなる等の動きに期待している。各市営駐車場の立地場所による利用の特徴を踏まえたうえで、試行結果も参考にしながら有効な方法を検討していきたい。無料時間延長によってまちなかに収益を呼ぶ方法を、事業者やお店の方に一緒に考えていただくよう進めていきたい。

飯田市公民館のホール廃止について

関島百合 議員(無党派)



A 飯田市公民館ホールを廃止するにあたっては、新型コロナウイルス影響前の、平成30年・令和元年の2年間の土日祝祭日の利用団体の内容や人数を確認した。その結果、文化会館・鼎文化センター・人形劇場などの施設を市民にご利用いただくことで、飯田市公民館ホール廃止の影響を最小限にできると判断した。■伝統的な観光文化と地場産業への支援について

Q 飯田市公民館のホール廃止には、先人が築いた飯田の音楽文化を揺るがす危機感があつた。市の見解は。

カーボンニュートラルの実現に向けて

市瀬芳明 議員(日本共産党)



A 令和3年度から市内全20地区にて環境懇談会を開催し、ゼロカーボンシティ実現に向けた施策を含む、「21、飯田環境プラン」に掲げる市民の皆さんにお願いしたい取り組みについて、パンフレットを活用して、啓発と意見交換を行っている。また、環境政策に特化したSNSの活用やイベントを通じた啓発も随時実施している。

Q ゼロカーボンシティ宣言後、市民への啓発は進んでいるか。どのような進め方があるか。

SDGsとZ世代について

宮脇邦彦 議員(公明党)



A 中高年世代とZ世代とが意識や背景の違いを認識しながら活動を共有する中で、お互いを認め合える関係性を構築することが重要である。Z世代の学生が授業やゼミ等で環境問題やSDGsを学び、考え、実践する取り組みが進められている。SDGsの視点を取り入れた教育活動も市内小中学校で広がりを見せており、さらに波及させていきたい。

Q 持続可能な取り組みへ、彼ら世代とどう向き合い、近未来を描くには何が必要か。

農地付き空き家の活用の考え方について

福澤克憲 議員(会派きぼう)



A 新規就農者への住宅確保を支援し、移住定住推進と遊休農地の解消を図るため、飯田市空き家情報バンク制度登録物件に付随する農地を取得する際の下限面積の引き下げを検討いただく旨の要望書を農業委員会に提出した。遠くない時期に下限面積の緩和が図られる見込み。

■国の予算を受けての飯田市予算の考え方について

Q 移住定住促進の施策の1つとして農地法3条許可に係る下限面積の検討を提案したが、その後の状況は。

アリーナ機能を中心とした複合施設整備について

熊谷泰人 議員(新政いいだ)



A 市では、南信州圏域のスポーツ文化の振興を基軸として地域の方が低廉な料金で使用できる環境を整えるとともに、プロスポーツの観覧や催しができる施設を提案したところである。しかし、広域連合においては、施設整備の考え方にも相違がある。ようやく議論のスタートに立ったところであり、地域の団体などと議論をして進めていく。

Q プロスポーツやコンサートなど「観る」ための、アリーナ機能を充実させた複合施設が必要と考えるが。

南の玄関口「遠山郷」の地域振興について

西森六三 議員(会派きぼう)



A 喫緊の課題である道の駅の再整備、南アルプスの「エコ登山」、しらびそ高原を起点とした山岳高原観光等への機運が地元で高まっている状況を受け止め、市全体の課題として遠山郷振興を進めていく。ユネスコエコ・ジオパークでは環境課や美術博物館、交通アクセスでは建設部や道路・河川の管理機関といった様々な連携を図って取り組んでいく。

Q 産業経済部所管にて新設された「遠山郷観光振興室」等、支援体制について考え方とその機能性は。

地域の安心安全のため、国土強靱化への考えと取り組みについて

新井 信一郎 議員(会派きぼう)



Q リニア事業の発生残土を、天竜川沿線の浸水想定区域や公共工事に絡め、地域の防災へ活用できないか。

A 天竜川の浸水想定区域の堤防等の強化対策、公共工事や地域防災については、関係機関と連携して対応や協議をしてきている。リニア事業による発生残土の活用は、議員の提案される内容の想定はないが、市民の福祉向上という観点から、代替地や工業団地への使用を考えている。

■コロナ禍における飲食店等への対応について

ともに創る新しいコミュニティづくりについて

佐々木 博子 議員(会派みらい)



Q 中心市街地を活性化させる目的と意図は。

A 中心市街地は、城下町の歴史から、飯田下伊那の商業や文化、賑わいの中心としての歴史があり、その中心性については市民に共有されていると考えている。丘のまちフェスティバルや獅子舞フェスティバルに代表される祭典なども、中心市街地ならではの催しである。中心市街地における賑わいや品格のある佇まいが失われ、寂れてしまうことを防ぐため活性化の取り組みが重要であり、市として支援等していく。

市議会傍聴に関して

毎回多くの市民の皆さまに市議会を傍聴いただき、ありがとうございます。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルに応じて、議場や委員会室での傍聴を自粛していただく場合がございます。事前に議会事務局へお問い合わせください。感染の拡大防止にご理解とご協力をお願いいたします。

また、一般質問をはじめとした本会議や委員会、動画配信サイトYouTubeでライブ配信するとともに、アップロードもしております。

ぜひ、ご視聴ください。

コロナ第6波まん防期間のマレットゴルフ場の閉鎖は

木下 徳康 議員(新政いいだ)



Q 市有施設原則休館時のマレットゴルフ場の閉鎖は適当だったか。指針を示すべきだったのではないか。

A マレットゴルフ場は、一部を除いて市有施設ではないため、新型コロナウイルスによる閉鎖等の対応は、管理者によりそれぞれ判断されている。しかし、判断や対応がそれぞれとなってしまうことにより、混乱などが生じたと聞いている。まん延防止の観点からも、市の対応に準ずるなどの指針が必要と考え、今後について検討していく。

信州大学新学部の誘致に関して

南信州地域には4年制の大学がないため、高等教育の充実が長年にわたる課題となっており、これまでさまざまな検討が行われてきました。こうした中、昨年10月1日、国立大学法人信州大学の中村宗一郎新学長が就任に当たり、「新しい学問領域に挑戦し、これからの時代を担うデジタル人材を育成する新学部の創設を検討する」と言及されたことを受け、飯田市長は、いち早く当地域への新学部誘致に取り組むことを表明しました。

飯田市長は、信州大学新学部の南信州地域への誘致実現のため、主体的に行動することを確認するとともに、信州大学新学部長である飯田市長に、この取り組みの先頭に立って誘致の実現に向けて早急に取り組むことを強く要望しました。



「信州大学新学部の誘致に関する緊急要望書」を市長へ提出

予算決算 委員会



委員会や分科会の
様子はYouTubeを
ご覧ください

令和4年度の当初予算について

令和4年度飯田市一般会計予算(案)をはじめとした令和4年度当初予算案は、第1回定例会開会日である2月24日の本会議で予算決算委員会に付託されたのち、予算決算委員会前期全体会で総務・社会文教・産業建設の各分科会へ分担し、3月1日から4日にかけて分科会で審査するとともに、3月17日の後期全体会で審査を行いました。

令和4年度飯田市一般会計予算(案)では、教育費の公民館管理・運営費について、飯田市公民館が民間施設の(仮称)飯田駅前プラザへ移転することから、かかる借上料や共益費などに関する予算、高校生や若者を対象とした創発事業の展開とその考え方、さらに、今後の市民への情報発信などに対して質疑が集中しました。



提供: (株) 飯田駅前プラザ

飯伊市町村議会議員研修会を開催しました

近年、災害が頻発・激甚化し、南海トラフ地震等の発生も懸念されています。また、昨年来、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、緊急事態宣言が出されるなど、今までに経験したことのない事態が発生しています。

こうした状況の中、改めて、災害に対する議会と議員の役割が重要であることが指摘されており、非常時における「議事機関」としての機能を担保することに加え、「議会が災害にどのように向き合い」、「地域の防災・減災・復興対策を担うために何をしなければならないか」を学ぶ機会として、1月25日に飯伊市町村議会議員研修会を開催しました。



研修会では、同志社大学の新川達郎名誉教授を講師として、「大災害・感染症と議会」と題し、災害時における議会の機能維持について、オンラインで講演していただきました。

政務調査研究報告会を開催しました

市議会の各会派では、今後の政策の立案、提言に活かし、ひいては市民益につなげていくことを目的に政務調査を実施しています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、予定どおり調査活動を行うことができない会派もありましたが、3月22日に令和3年度の政務調査研究報告会を行いました。

政務調査研究報告会で発表した会派とテーマ(視察先)は以下のとおりです。

新政いいだ

▼「マイレポ半田の取り組み」について

(愛知県半田市)

▼「移住・定住支援の取り組み」について

(大分県臼杵市(オンライン))

会派みらい

▼「地域の価値を活かすジオパーク」再認定に向けて」(熊本県阿蘇市・長崎県島原市)

公明党

▼「はつらつ岡谷スポーツプラン」について (長野県岡谷市)

▼「女性デジタル人材育成」について (長野県塩尻市)

詳細につきましては、飯田市議会ホームページをご覧ください。

総務委員会

3月1日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

《予算決算委員会

総務分科会》

令和4年度予算審査

地域エネルギー普及事業について

Q 小沢川小水力は構想から何年も経ち、このまま進めて大丈夫かとの声もある。市としてどう評価しているか。

A 来年度から国の再生可能エネルギーの固定買取制度が変更となる。新制度では、有事における地域での住民の利用が要件として付加され、建設コストが上がるため、コストを抑えられるように現行のFIT制度下で運用開始を目指している。現在の国の審査を受けており、事業性を保つよう、進捗に協力していく。

Q 今後電気自動車の増加が見込まれるが、蓄電システム普及に向けて車両1台あたりの補助額はどの程度か。

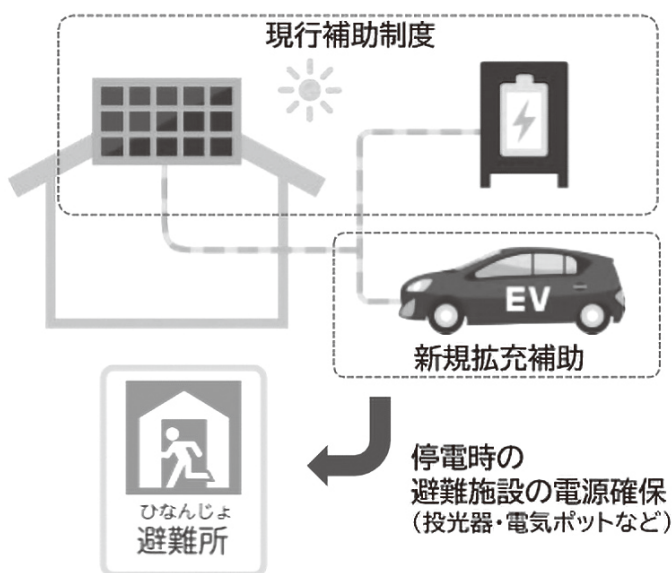
A 住宅用への補助額の上限10万円と同程度の金額水準を考えている。

省エネルギー推進事業について

Q 自転車貸し出し事業の状況は。また、電気自動車の活用の考えは。

A 移動手段のCO₂削減のために引き続き自転車貸し出し事業を進める。

これに並行して、電気自動車についても、市として補助金制度を設けるほか、県による充電ステーション整備の計画があり、また、民間の給電ポイントも増加していることから、さらに市として担うべきことを検証しながら進める。



電気自動車 (EV) の普及を図る補助金制度が開始される予定



自転車レンタルでCO₂削減と自転車の楽しさを再発見してみたいかがでしょう

自然環境保全推進費について

Q ジオパーク、エコパークの取り組みについて、予算の増減は。また事務局の組織体制はどうか。

A エコパークの調査書作成委託料は今年度限りであるため減額となったが、来年度、ジオパークの再審査経費を計上しており、この分は増額となっている。

組織体制としては、美術博物館や文化財保護活用課など教育委員会の協力を仰ぐほか、全市をあげて取り組んでいく。

社会文教委員会

3月2日～3日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

(仮称) 飯田駅前プラザへの中央図書館
飯田駅前分室設置に関して(議案第14号)

(仮称) 飯田駅前プラザに中央図書館
飯田駅前分室を設置するため、図書館条
例を改正する議案を審査しました。

Q 蔵書について、いつでも使えるオー
プン書棚と司書職員がいる時に使える書
棚と分けて運用するとの説明だが、具体
的な蔵書の内容は。

A オープン書棚では、図書館の通常
の分類に基づくものではなく、高校生や
若い世代をターゲットとしたテーマに沿
った配置を予定している。また、(仮称)
飯田駅前プラザの商業施設利用者向け
の一般の読み物なども配置する。

Q 隣接するシェアスペースについて、
シェアスペースで読書ができるとの説
明だが、飲食しながらの利用も可能か。

A 今までの図書館にはなかった
が、飲食を伴いながら、ある
いは、おしゃべりをしながら、
利用してもらうことができる。



Q オープン書棚について、司書職員がい
ない時間において、本が紛失する心配は。

A 紛失の心配はあるが、本に親しんで
いただくことを重視し、セルフ貸出し
といったことにもチャレンジする。飯田
駅前分室として分室を設置するにあ
たって、教育委員会内部でもしつかり
と議論してきたところであり、図書
館の新しい使い方へのチャレンジと考
えている。読書離れの傾向が高まる
高校生を含めたターゲットとしなが
ら、その高校生を含めた皆でつくる
図書館にしていく考え。



親しみやすい本棚を新たにつくっていきます

(仮称) 飯田駅前プラザの名称は、「丘
の上 結いスクエア」にすると3月22
日に発表がありました。

飯田市恒川史跡公園条例の制定について
(議案第12号)

恒川史跡公園は、国の史跡に指定され
た恒川官衙遺跡を保存するとともに、そ
の活用を図ることにより、教育・文化の
向上、地域振興、学習・交流の拠点とす
る目的で設置。市では、恒川史跡公園の
設置と管理のため、飯田市恒川史跡公園
条例を制定。令和4年4月に恒川史跡公
園の清水エリアが供用開始となりました。

Q 公園条例施行後の史跡公園の活用と維
持管理はどのようなになるか。

A 史跡公園の整備は、座光寺地区と連携
協働して進めてきた経過がある。史跡
公園の活用は、平成26年に「2000年浪
漫の郷委員会」を立ち上げて、史跡を地
域の発展に生かそうと取り組んでき
ている。令和2年には、史跡の案内ガイ
ド組織として「浪漫の郷座光寺案内人」
が立ち上がり、各種団体の学習会等
で講師を務めたり、南信州観光公社
のツアーと連携して地域の歴史文化
遺産を案内している。恒川清水の維
持管理については、整備前より地
域で保全活動が行われており、引き
続き清掃等を行っていただくよう調
整を進めている。



水をたたえた恒川清水

産業建設委員会

3月3日～4日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

「飯田市保健休養施設」の指定管理者に
関して（議案第17号）

Q (株)南信州観光公社が令和3年度に1年だけの指定管理を行うことに至った理由は。

A 4年前から本施設のあり方を地域と協議する中で、老朽化した沢城荘を解体し、その他の部分を有効に活用する方針を決めた。さらに、今後の利用や受け皿などの検討を行うため、令和2年度と3年度は1年ずつの指定をしながら施設のあり方の検討を進めてきた。



身近なところに憩いの空間
地元の良いさを再発見！

Q 沢城湖は釣りの利用者もいるが、指定管理者が管理を行う範囲は、キャンプ場だけなのか、沢城湖周辺も含むのか。

A 沢城湖を含めた一体の管理になるため、指定管理者と連携をとって進めていく。

《予算決算委員会 産業建設分科会》

令和4年度予算審査

新産業創出事業費に関して

Q 「UAM(都市航空交通)」市場への参画の検討を含む電動化(次世代エア・モビリティ)の内容は。

A 当地域の中核的な企業が信州大学等と連携して、次世代エア・モビリティの一部の機能的な部品、ユニットを開発している。また、航空機と同様で、空飛ぶ自動車については精度が求められる。今まで航空機で培った技術やネットワークを活用して、展示会、セミナーなどに参画し、整備済みの環境試験機器のPRも含めて事業展開していく。



【空飛ぶ自動車イメージ】

人の移動や物の運搬、災害時の活用などを想定

出典：経済産業省ウェブサイトより

企業誘致推進事業費に関して

Q 立地促進事業のSDGs、デジタル化、物流等新たな視点も踏まえた企業誘致の内容は。

A SDGs分野では、昆虫食等の代替たんぱく質などに関する企業の引き合いが増えており、地元企業のネットワークを通じて誘致を進めている。デジタル分野では、当地は製造業も含めてデジタル化が遅れているという課題と、誘致を行っている信州大学の新学部が情報系ということから、IT系の企業を当地へ誘導していきたい。また、働き方改革の一環で、長時間運転による負担を軽減するため中間点で荷物を引き渡すというニーズが出てきており、三遠南信自動車道、中央自動車道などの交通の結節点として、ハブ的な物流拠点を求める企業をターゲットとして誘致していきたい。

リニア推進事業費に関して

Q リニア駅周辺整備事業及び代替地整備事業の建設資材等の物価上昇による物件移転補償費の見直しについての考え方は。

A ウッドショックや物価の上昇は認識しており、移転者からも意見が寄せられている。これらの影響が、短期的なものか長期的なものか判断が求められる。現行の制度では、価格の見直しが毎年1回6月に行われているので、国及び県の動向を注視している。

リニア推進 特別委員会

3月8日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

リニア推進ロードマップの修正と リニア関連事業の進捗について

リニア推進ロードマップは、国や県の計画等と「いいだ未来デザイン2028」を踏まえて2017年に全面改訂し、以降、毎年時点修正が行われています。

2022年度は、飯田市を含む中部ブロック版の『リニアの開業効果を地域振興に活かすビジョン』を反映して修正したことの報告がありました。

Q 埋蔵文化財調査が広い範囲で同時に開始されるが、調査人員の専門性や体制づくりの見通しは。

A 埋蔵文化財調査にあたっては、県及び市の教育委員会、埋蔵文化財センターと建設事務所、JR東海により定期的な調整会議を開催している。この協議に基づき、調査に向けた体制やスケジュール等を検討している。



リニア駅とJR飯田線との 接続方法に関する検討状況について

委員会において執行機関側から、昨今の交通モビリティを取り巻く環境の変化を踏まえ、リニアの整備効果を地域振興に活かすためには、新しい交通システムを踏まえたりリニア時代の二次交通についてさまざまな面から検討し、そのあり方を提示していくことが最も重要と捉えている。については、新しい交通システムと二次交通のあり方を考察し、そこから派生する新しい交通システムによる、リニア駅とJR飯田線との接続方法について、既存駅との活用という視点から検討を行い、その結果報告はリニア駅周辺整備の市民向け説明会に合わせて実施するとの説明がありました。



人にも環境にも優しい、未来のための取り組み

Q 二次交通のあり方調査検討業務の状況は。

A 二次交通のあり方調査を業務委託し、取りまとめを行っている状況。

リニア時代を見据えた飯田市の 効果的な情報発信のあり方について

委員会において執行機関側から、リニア関連事業の地域全体の気運を盛り上げることを目的として、情報の到達・浸透状況に関する調査を実施した。また、都市圏に対しても、観光や移住定住促進等の効果的な情報発信が必要なこと、飯田市の魅力向上やイメージアップにもつなげるために、合わせて調査を実施したとの説明がありました。

▼調査結果に基づいた令和4年度以降の 飯田市の情報発信の取り組み

- 1 知ること（市民向け説明会）と、考えること（意見交換の場）の2本立てでの情報発信を実施する。
- 2 市民からの意見聴取後、「情報の受け手の属性」、「情報の種類」、「情報の質」を踏まえ、受け手の世代特性や関心事に合わせた情報を発信する。
- 3 従来の広報等の情報発信に加え、地元民間メディアやSNS等の活用を強化し、新しい手法を導入する。
- 4 説明会内容のインターネット配信や出前講座及びワークショップを実施し、情報の「伝達」「浸透」のスピードを速め、理解と共感に支えられた事業推進と気運醸成に結びつける。

議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～ 音楽に親しむ時間 ～

みや わき くに ひこ
宮 脇 邦 彦

平成10年(1998年)、転勤で飯田市へUターンして来ました。引越し荷物の中に、学生時代の汗が染み込んだトロンボーンがありました。

それがきっかけか?4人の子どもたちが吹奏楽を始め、パーカッション、クラリネット、フルート、ホルンを奏できるように、追っかけの日々を過ごしました。

楽器運搬係もさせて頂き、ホクト文化ホールで金賞を受賞。一音に集中してのハーモニーに時に涙し、拍手喝采を送り、子どもたちの熱演に元気を貰っていました。小中高校と学年が進み、技術の上達に目を細め、やっぱり音楽は良いと感じました。

子どもたちが卒業後は、高校吹奏楽部の定期演奏会を毎年楽しみにしています。

音楽に親しむ時間を大切に。



～ 手作りしょう油 ～

せき しま ゆり
関 島 百 合

風邪薬が原因で2度入院したことがあるため、口に入れるものには自然と気を付けるようになっていた。こうした中で、「手作りしょう油」と「手作り味噌」との出会いが、大きな転機となった。「しょう油は発酵食品」だと実感したのは、手作りしょう油を詰めた一升瓶のふたが、夜中に突然、ポンポン飛んだことがあったため。何事かと飛び起きたが、5月下旬の気温の上昇とともに手作りしょう油の発酵が進み、発酵の力で一升瓶のふたが吹き飛んだのだと分かった。発酵と腐敗は、似て非なるもの。健康なお腹と免疫力のためには、「腐敗」ではなく「発酵」が欠かせない。ここ10年以上は、発酵食品にも助けられ、風邪をひいて寝込むことが皆無になっている。



議会の動き(予定)

■ 第2回定例会

開会5月24日(火)～ 閉会6月17日(金)

◇ 一般質問 (傍聴可能)

6月6日(月)～7日(火)

◇ 委員会日程 (傍聴可能)

予算決算委員会前期全体会	5月24日(火)
総務委員会	6月8日(水)
社会文教委員会	6月9日(木)
産業建設委員会	6月10日(金)
リニア推進特別委員会	6月14日(火)
予算決算委員会後期全体会	6月17日(金)

■ 議会への請願・陳情は、議会事務局へ

5月10日(火)午後5時までに提出ください。

議会傍聴に際してのお願い

新型コロナウイルス感染症対策のため、長野県が発出する警戒レベルや市議会災害対策会議の協議の結果に応じて、傍聴の自粛や入場者数の制限、マスク着用や検温などをお願いすることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

広報広聴委員会

委員長/福澤克憲 副委員長/清水 勇
委員/下平恒男 橋爪重人 関島百合
筒井誠逸 小林真一 佐々木博子

表紙紹介

がんばるとるに座光寺

4月から供用開始となった恒川史跡公園「清水エリア」に植樹するイベントが3月19日に行われました。植える木々は座光寺の南本城跡で自生する「オオモミジ」や「アオキ」などで、参加した親子11組が1本ずつ植えました。

参加した子どもたちからは「遊べる公園が増えてうれしい」、保護者からは「家族で植えて記念になったので、今後も立ち寄って成長する姿を見たい」「子どもたちにとっても思い出に残る公園になってほしい」などの声がありました。

2027年まで続く恒川史跡公園整備事業。地域の皆さんに愛され親しまれる公園になっていくことを願っています。

